

迷わない、待たない、快適な区役所を目指して！

「センサーを活用した実証実験」を開始!!

mirai@
city.fukuoka

福岡市では、民間事業者の先進的なアイデアや AI・IoT といった先端技術を活用して社会課題の解決等を促進する公民連携ワンストップ窓口『mirai@』（ミライアット）を設置し、提案者と市が共働で行政サービスの高質化・効率化に資するプロジェクトを実施する『実証実験』のご提案を募集しております。

この度、東区役所において、今後の更なる市民サービスの向上を目指し、以下の通り2つの実証実験をスタートすることとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. プロジェクト1

(1) 実施事業者：62Complex 株式会社

(本社：福岡市、共同代表：橋本司、市江竜太)

(2) プロジェクト名：『センサーを活用した人流解析』

(3) 実証実験概要（技術の詳細については別紙1参照）

レーザーを利用したセンサーで取得した“4D 空間データ”を分析し、来庁者の移動経路や滞留場所などの把握が可能か検証を行います。分析結果は、効率的なレイアウト配置や効果的な案内板の設置個所の検討などへの活用が期待されます。



2. プロジェクト2

(1) 実施事業者：国立大学法人 九州大学

(2) プロジェクト名：『センサーを活用した混雑状況の可視化』

(3) 実証実験概要（技術の詳細については別紙2参照）

センサーを活用し、携帯電話からの電波を検知することにより、窓口ごとの混雑状況を把握することが可能か検証を行います。混雑状況のデータを積み重ねることにより、混雑状況の見える化だけでなく、混雑予測の公開も期待されます。



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

3. 実証実験場所及び実施期間

(1) 実施場所：福岡市東区役所1階フロア（東区箱崎2丁目54-1）

(2) 実施期間：令和4年2月1日（火）～令和4年5月31日（火）（予定）

4. 問い合わせ

● 公民連携ワンストップ窓口『mirai@』に関すること

福岡市総務企画局企画調整部 担当：雪野、大藪 Tel：092-711-4879（内線1219）

● プロジェクト1に関すること

62Complex 株式会社 担当：橋本 司

Tel：050-3553-2050 e-mail：info@62complex.com

● プロジェクト2に関すること

九州大学持続的共進化地域創成拠点 客員准教授 高野 茂

e-mail：takano.shigeru.019@m.kyushu-u.ac.jp

福岡市東区役所 総合受付における 4D 空間データ分析による人流解析

“オフライン”を検索できる未来へ

62Complex 株式会社(以下: 62C)は、まちなかや施設にレーザー光を利用して計測するセンサーを設置し、時間的に連続した点群データ(4D 空間データ)を取得、エッジ処理とクラウド分析により、ヒト、空間、環境情報を分析・可視化する SaaS プラットフォームの開発と運営、コンサルティングを実施するスタートアップです。

創業から約1年、北部九州を中心とする自治体の方々に対して、市街地や観光施設および鉄道駅などの4D 空間データ分析サービスを提供してきました。

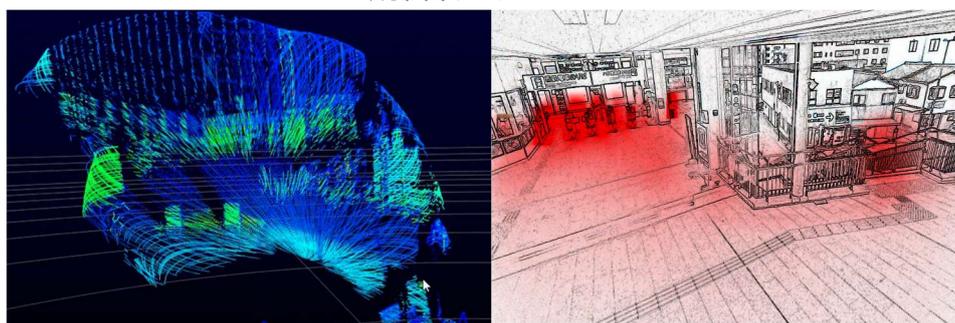
62Complex

このたび、62C の4D 空間データ分析システムを用いて福岡市東区役所の総合受付における利用導線や空間状況を把握する実証実験を開始します。

4D 空間データ収集端末5台を設置し、区役所窓口周辺の人の流れと移動経路、また来庁者の滞留時間や滞留場所を分析する実証実験を行います。これにより区民のみなさまへのよりよい窓口サービス提供への貢献を目指します。

今回はレーザー光を用いて取得されるデータを用い、取得するデータに個人情報は含まれません。

計測対象データイメージ



企業情報:

- ・ 62Complex 株式会社
- ・ <https://62complex.com/>
- ・ お問い合わせ: info@62complex.com

伊都キャンパス周辺バス停混雑度情報可視化システム「itocon」について

九州大学大学院システム情報科学研究院ヒューマンフィリックシステム研究室(荒川豊教授)および九州大学持続的共進化地域創成拠点(COI)では、新型コロナウイルス対策の一環として、伊都キャンパスに通う学生・教職員向けにバス停や食堂の混雑度を可視化するシステム「itocon(いとこん)」を開発し、Web アプリとし



て公開しています。混雑の計測はWiFiやBLE(Bluetooth Low Energy)の出す電波をもとに周辺のスマートフォンの台数を推定し、センサ設置周辺空間の混雑度として可視化する仕組みです。伊都キャンパスでは、周辺11カ所のバス停および9カ所の食堂の混雑状況がリアルタイムに確認できるようになっています。この混雑情報を活用して、キャンパスにおける行動変容を促す研究開発が進められています。また、「itocon」は、コロナ禍における公共交通利用促進策の事例として、国土交通省のWebサイトにて紹介されています。

このたび、同システムを用いて、福岡市東区役所における混雑状況のセンシングに関する実証実験を開始いたします。今回は、WiFi/BLE/LTE-Mを搭載したUSB型通信端末に混雑センシングプログラムを実装し、低消費電力化した小型混雑センサ「itocon-GO」を、6台を東区役所待合室ロビーに設置し、実際の混雑状況と比較しながらシステムの精度検証などを実施させていただきます。混雑状況は、Webブラウザで確認でき、下図のような表記で周辺の混雑状況を可視化します。



なお、計測する電波から個人を特定する情報は含まれておりません。

参考情報:

- ・ itocon のポータルサイト: <https://itocon.arakawa-lab.com/>
- ・ itocon-GO センサ概要:
 - サイズ: 約 93mm x 27mm x 8mm (突起部を含む)
 - 重量: 約 21g
 - 通信機能: nano-SIM
 - 消費電力: 1W 程度

